

# 平成26年度 市民環境部長「政策宣言」中間報告

市民環境部長 寺岡伸清

## ○ 平成26年度重要事業

<b>事業名</b>	斎場整備への着手
<b>目標</b>	平成26年度予算においては、斎場整備に向けた基本計画策定費を盛り込んでいます。合併以来の懸案である当該事業は難事業ではありますが、既存施設の老朽化の進展や財源の見込み等を考慮した場合、猶予は無くなりつつあると認識しています。ついては、今年度において、可能な限り整備地を確定させ、基本計画を策定するなど、当該事業に対して本格的に着手いたします。
<b>進捗状況</b>	具体的な候補地を絞り込み、調査中の段階にあります。難しい課題であることから、慎重に関係者の理解を得るよう努めてまいります。
<b>今後の対応</b>	スピード感を意識し、年度内決定を目指しますが、拙速を避け、慎重に関係者の理解を深めていく努力を継続してまいります。

<b>事業名</b>	庁舎整備後の窓口サービスの在り方検討
<b>目標</b>	平成26年度から市民環境部に市民課が新設され、窓口サービスの在り方を検討する事務を所管することとなりました。ついては、とりわけ、地区センター(仮称)におけるサービスの在り方について、庁内関係部局と建設的な議論を進めながら当局案を整備してまいります。検討に当たっては、市民サービスの維持向上と、合併効果の具現化という両面からしっかりと検討します。
<b>進捗状況</b>	総合窓口については、そのサービス内容等、考え方の概要が固まりました。また、地区窓口については細部の調整が必要ではありますが、提供するサービスの選択等、骨子について当局内合意ができつつあります。
<b>今後の対応</b>	行政サービス担当各課と最終調整を行い、平成27年度上期までに議会に示すよう取り組みます。

<b>事業名</b>	公共交通プランの具体化の推進
<b>目標</b>	本市においては昨年射水市公共交通プランを策定しましたが、そのプランを生かした具体的な取組は今年度からであります。ついては引き続き交通関係者等との折衝は粘り強く進めますが、一方で、今年度から新たに幅広い市民の意見を聞くために(仮称)公共交通検討協議会を設置し、幅広い視点からの議論を進めることとしており、それらの成果を生かしつつ、魅力的でかつ将来に持続的な公共交通対策を進めます。
<b>進捗状況</b>	公共交通検討協議会を組織し、検討を始めています。射水市としてのあるべき公共交通、とりわけコミュニティバス運行事業を中心に自由に意見を交換しています。(会長 富山大学経済学部岩田教授)

今後の対応	今年度末までに(仮称)射水市コミュニティバス運行事業に対する提言(第一次)を当該協議会で取りまとめ市当局へ提出します。
-------	---